

(金沢地区) 小学校のあり方について

意見要旨	説明・回答要旨
保護者を対象とした2回目の地域対話で、金沢地区は、190人以上の方が参加された。10地区を対象とした地域対話では、金沢地区と泉野地区だけで、参加者全体のおよそ3/4を占めている状況で、地区の偏りがあり、全体の参加者数も少ないと感じた。市はこの結果をどう受け止めているか。また、今後どのように検討を進めていくのかお聞きしたい。	(市長) 各地区で関心の度合いがバラバラな印象だが、茅野市全体で学校のあり方について考えていくことが理想。 今後、いただいたご意見を基に、市として方向性をお示しして、それに対してご意見を頂く中で、方向性を決めていきたいと考えている。 どのような学校編成になるか未定だが、学校の建替えをする場合、多額の財源が必要となるため、計画から1、2年で完成するようなものではない。また、整備が必要な公共施設は学校だけでなく、図書館や公民館などたくさんある。その中で、10年、20年先の整備計画を、市民の皆さんと話し合っ て決めていきたい。 (こども部長) 地域対話への参加者数が少なかったのは残念に思う。 今後は、市全体での話し合いやアンケートを実施するなど、時代に合った方法で、ご意見をお聞きしたい。
地域の人たちは金沢の学校、地域をどうすればいいのかということには関心があるが、茅野市全体の学校のあり方については関心が薄い。その人たちにとっては、緊急の問題ではないのだろう。 そんな中でも、地域対話に参加してくれる人たちは、問題を真剣に考えてくれている。その人たちの意見を一部の意見と考えるのは、間違った認識だと思う。 また、今回地域対話で市から共有されている資料は簡単なもので、資料を見て小学校の今後のあり方を考えることは難しい。も	(こども部長) 丁寧で正確な情報提供を心掛けていく。今後とも貴重なご意見をいただきたい。 (市長) 必要な財源の試算についての話があったが、実際の計画が出てこなければ、試算は難しく、今回はその前段階の検討という位置付けで、市民の皆さんのご意見をお聞きしている。方向性を打ち出す時期は、まだ先で問題ないが、今後必ず学校のあり方を変えていく必要がある。ぎりぎりになって、市から学校のあり方を決定事項として市民

っと丁寧で正直に情報を開示する中で考えを促してほしい。資料では、子どもが減るというデータを出して煽っているが、社会増を踏まえたデータも提供されていない。 クラス編成についても、「国の標準は、各学年2クラス、最低18人で、200人以上が理想だが、地域の実情を踏まえてこの限りではない。」という簡単なデータではなく、小学校が大事で地域づくりに必要だという地域は学校を残している事例も出していない。 財政も厳しいとのことだが、教育にどのくらいかかり、再編するとどのくらい軽減できるのかなどの情報もない。 地域にとって、学校がどのような存在なのか、など大事な事がほとんど知らされていない状況で、アンケートを実施してもあまり意味がないと思う。ぜひ市として、言いたくないことを言っていただき、お互いの信頼関係を築いていければと思う。	の皆さんにお示しするのではなく、決定する前に市民の皆さんと話し合いをするために、言いにくい状況も共有して、地域だけでなく茅野市全体に目を向けてもらいたいと考えたが、発信が十分でなく申し訳ない。 財政面では、今後必要となる市の施設整備をある程度計画的に行うことにより、支出の平準化を図ることができるメリットはあるが、我々は、お金がないので学校の再編を検討しているとは一言も言っていない。 今まで整備してきた施設が来年でひと段落付く予定なので、学校のあり方についても検討をはじめている状況である。
市長も言ったとおり、市の打ち出し方に問題があったのではないかな。 学校の検討と同じタイミングで、広報紙等で行財政改革をキャンペーンしてしまっているのに、財政難から学校の再編を検討していると市民に刷り込まれてしまっている。 しかし、しっかり情報を読み解けば、教育費は市全体の支出の1.5%前後だと思うので、あまり財政とは関係ないように思える。 情報の出し方、タイミングを工夫していただき、一緒に考えていきたい。	(市長) 貴重なご意見に感謝する。
先日行ったアンケート結果では、賛成が2割、やむを得ないが6割で、賛成派と捉えられる意見が8割となっていた。財源が無く、子どもが減るといったマイナスな情報の	(市長) おっしゃる通りだと思う。 中央公民館やゆいわーく、博物館など、活動内容が似ている施設が多いが、市長部局

みをアナウンスされれば、このような結果になり、正確に声を拾えているのか疑問。 学校の建替えには 40 億円の財源が必要だと説明があったが、単純な建替えだけではなく、リノベーションや複合化などの知恵を絞った意見も提示してほしい。	と教育委員会が所管それぞれの施設を所管していることなどから、施設を統合したり、活動を集約したりといった視点がなく今に至っている。公民館活動と市民活動を一体化していくことで、今までそこにかかっていた人、お金を削減できると思うので、今後検討していきたい。
小学校が無くなるということは、子どもを育てられる地域ではなくなってしまう、急激な地域の衰退が起こる。そこで、我々と行政の立ち位置をしっかりさせたい。 行政は、金沢地区をどうにでもできる行政権を持っているということと、我々は行政に対して弱い立場であることを認めるか。	(市長) 認める（最終的には行政が決定しなければならないということ）。
(上段続き)であるならば、我々は、市に対して、強烈な要望を上げることになると思う。 小学校が残ればすべての問題が解決されるものではなく。今の学校規模のまま、10 年、20 年学校を維持することは並大抵のことではないので、市として力を入れて支援をしてもらいたい。統合して、補助が出るのであれば、国からの補助約 20 億円の 10% くらいは金沢のために投資してほしい。 今後、金沢の地域力を維持するためには、お金が必要。	(市長) まだ、学校の方針は決まっていないので、明確の回答はできないが、統合となった場合のご意見として参考にさせていただく。 行政は、市民の皆さんに居住場所を指示することはできない。ここに住みたいなと思ってもらえる地域を皆さんで作ってってもらいたい。そのためには、自治力が大事であり、自分の地域は自分で守るという意識が大切となる。そういった中で、投資が必要となれば、前向きに検討させていただく。 学校の施設は、修繕していけば、あと 10 年、20 年は問題なく使用できると思っている。 純粹に、児童数が減ってくる学校で学び続ける事が子ども達にとってどうなのかご意見いただいたかったため、今回あり方検討会を開かせてもらった。

(金沢地区) 市のビジョンについて

意見要旨	説明・回答要旨
市長の説明で、あるべき姿やビジョンが示されているが、今、我々に伝わっている話は、すずらんの湯や環境館の閉鎖、公共施設利用料の値上げ、補助金カットなど、マイナスな動きしか聞こえてこない。実際にこの動きが、市のあるべきビジョンのどこに関わっているのか、削減したお金はどのように使われているという情報が一切ないので、市民は行政に不信感があるのではないか。 今後、信頼関係を持って公民協働やパートナーシップのまちづくりを進めていくために丁寧な説明や情報提供をしていただきたい。	(市長) それぞれの事象が関係し合っているため、1つ1つについて、効果を明確にお答えすることは難しいが、様々な取組の成果と市民の皆さんの協力によって、コロナ以降は基金を取り崩さないで済んでいる。 市民の皆さんへの情報発信の方法を今後検討していきたい。 (総務部長) 使用料については、10月から改定させていただく予定。茅野市の公共施設の多くが老朽化しているので、今後必要な改修等に加え、利用者の皆さんがより快適に利用できるように整備のために使用料を活用していく予定。 その他の事業等についてもこの考えを基に整備を行っている。
例えば、スケートセンターや市民プールについては、スポーツ振興という側面で、どのような目的で、検討あるいは譲渡という結果になったのか、その効果どうなのか、というような紐づけをしてほしい。 また、民間ではできない部分をサービスとして提供することも行政のあり方の1つだと思うので、そういった線引きなどの考え方を共有してほしい。 学校の問題については、学校統合に反対している郊外の地域の振興について一緒に考えなければ、議論は難しい。そういったところまで踏み込んだ議論ができればと思う。	(市長) おっしゃる通りだと思う。 同じタイミングで様々なことに取り組んでいるので、市民の皆さんは非常に混乱されていると思う。ただ、同時進行しなければならない状況になっているということは理解していただきたい。 進め方に不備があることはこちらも承知していて、申し訳なく思っている。

(金沢地区) 情報発信について

意見要旨	説明・回答要旨
茅野市は、広報紙等を上手に使って、財政難というメッセージを市民に届けているが、メッセージが効きすぎて、市民の気持ちが沈んでいる。どこの市町村も同じような財政状況だが、この状況をどう乗り越えていくか、という情報もしっかりと発信したほうが良いと思う。	(市長) 他の自治体があまり発表しないこともあり、こちらがお願いしたわけではないが、報道の皆さんに大々的に取り上げていただいた。一部我々の意図に反した内容の報道があったこともあり、市民の皆さんを混乱させる結果となってしまった。

(金沢地区) 施設の使用料について

意見要旨	説明・回答要旨
施設の使用料の値上げについて、3 か月前に区長会で説明があったが、もっと前に計画があったと思うので、わかっている段階で説明していただきたかった。	(市長) アナウンスの方法に問題があったようで、ご迷惑をおかけした。 いただいた意見を参考に、他の事業に生かしていきたい。

(金沢地区) 空き家対策について

意見要旨	説明・回答要旨
国勢調査員として 100 軒訪問したが、十数件が空き家となっていたので、市として早急に対策をしなければならないと思う。	(都市計画課長) 令和 4 年に調査した際には、金沢地区内で 100 軒ほどの空き家があった。 市としては、調査した空き家については、所有者に今後についてのアンケート等を実施して、相談会への参加を呼びかけている。空き家バンクというサイトを立ち上げ、空き家を売りたい人と買いたい人を仲介する取組を進めている。 空き家の増加が、全国的に問題となっている中で、市としても精力的に取り組んでいるので、地域の皆さんにも、情報の提供や活用などについて、ご協力をいただき、一緒に取り組んでいければと思う。

(金沢地区) 民生児童委員の改選について

意見要旨	説明・回答要旨
金沢地区は 3 名が改選となるが、後任探しに苦慮している。 松本市では、公募をしているケースもあるようだ。市として、公募も含めた成り手不足解消の取組をお願いしたい。	(市長) 定員に対して欠員が出てきている。公募も検討していかなければならないと思っているが、現状は、地域の皆さん頼みとなっている。ご苦勞をおかけして申し訳ないが、よろしくお願いしたい。

(金沢地区) 区長会長の会議について

意見要旨	説明・回答要旨
区長会長と地区コミュニティ会長の会議が 2 月にあったが、年末にも会議を開いてほしい。一年間勤める中で生じた検討事項や懸念事項について、市長とざっくばらんに話し合う会議を設定してほしい。	(市長) 各地区における人手不足などの諸問題の解決に向けて区長会長の皆さんとの話し合いが必要。 茅野市のまちづくりの根幹ともいえる区・自治会の運営等が大変になってきていると認識している。パートナーシップのまちづくりを進めていく中で、区・自治会よりも地区に重点を置いてしまっていたことを反省している。貴重なご意見をいただいたので、開催について前向きに検討する。

(金沢地区) 地域課題解決に向けた行政の手助けについて

意見要旨	説明・回答要旨
私は、金沢小学校検討委員会の人口部会に入っている。これから本格的に活動が必要となってくるが、人口減少対策は非常に難しい。アプローチの方法を間違えると、あまり効果が出ない。市は、専門的な知識等を持っているはずなので、地域部会と合同で勉強会を開くため、住宅系の職員と打合せを行った。しかし、人口問題の解決は、空き家対策だけでなく、様々な切り口からの	(副市長) 市の人口減少対策としては、地域創生課の移住・交流推進室を窓口として市の様々な部署や行政以外の様々な団体の皆さんと相互に連携して社会増に向けた様々な事業に取り組んでいる。 国では、人口減少対策として、地方都市間で競争させる方法をとったが、その結果、各地方都市は疲弊してしまった。そこで、

対策が必要となり、そのためにはお金も人手も知識も必要になるので、市で専用の部署を作って、常に門戸を開く中で、サポートしてほしい。	国は、「地方創生 2.0 基本構想」を打ち出して、日本全体で人口の減少は止められないが、人口が減ったとしても、広域連携、DX化、地域の繋がり強化などを通じて、自分たちが住む地域でしっかり生きていける社会を作っていくという方針へ転換してきている。そのような流れの中で、茅野市は、移住交流の取組を努力してきていることをご理解いただきたい。特に泉野地区は、新規就農される方が増えて、その方々を中心に地域が盛り上がってきている。金沢地区でも、外から人を呼び込んで、その方々を中心に地域が活性化していければと考えている。 また、市では、企業を誘致するための適地の検討等を庁内で始めている。様々な取組をしているので、今後とも協力いただければと思う。
---	--

(金沢地区) 冒頭市長の発言について

意見要旨	説明・回答要旨
市長の説明の中で、ゆいわーくと中央公民館の違いを説明できる人がなかなかいないという発言があったが、行政として、説明できないままで施設を運営するのはどうなのか。不適切な発言ではないかと思う。 また、基金を積み増しているという話があったが、私からすると、何も事業をしていないのではないかと感じてしまう。予算に余裕があるのなら、使うべきところにしっかりとお金を使ってほしい。	(市長) 行政が説明できないということではなく、利用している市民の皆さんが説明できないのではないかと趣旨で発言した。分かりにくい表現で申し訳なかった。 基金については、予算の削減のみで積み増したということでは無く、市全体で今後必要となってくる設備投資や、扶助費のような年々増加していく固定的な支出を、国の補助金等を活用することで、上手にやりくりできたので、積み増すことができたということ。投資するべきところにはしっかりと投資をしていく予定なので、ご理解いただきたい。

	(副市長) 基金は、貯めておくためのものではなく、この先必ず必要となってくる設備や施設の修繕等への投資のために少しずつ貯めている。 また、茅野市の場合は、それぞれの分野で館を建ててきてしまったので、公共施設が多い、一体化することで、体系的な学びにつながるものもあるので、施設の複合化やあり方を検討していく。今やっている行財政改革は、ただ、予算を圧縮するものではなく、事業そのものの仕組みやあり方を変えていくことを目標に据え、今取り組んでいる。
--	--

(金沢地区) 魅力あるまちづくりについて

意見要旨	説明・回答要旨
各地域で起きている様々な問題の根本は、少子高齢化などの人口問題だと思う。 その中で茅野市は、若者を支援して、茅野市に住みたいと思ってもらえるような魅力あるまちに向けて取り組んでいるのか。子育て政策だけでなく、観光などの産業振興や、住環境の整備も進めていってほしい。 働く場所、住む場所があれば、若い子育て世帯がここに住んで社会増となり、税収も上がると思う。	(市長) 全くその通りだと思う。 ネガティブな情報だけが、大々的に発信されてしまっている状況。 何か一つの施策だけで人口が増加するというものではなく、一見すばらしい施策に思えても、実態は違っていることもある。一つひとつの施策を総合的に判断していきたい。 (地域創生政策監) 今回のまちづくり懇談会のテーマのとおり、今、茅野市は、未来を育む力を創り出していくために行財政改革を行っている。 先ほど、行財政改革で生み出した財源の活用方法についてご意見をいただいたが、補助金を例に挙げれば、補助を受ける団体や地域と補助を出す行政の双方がやる気にならなければ、その財源は無駄になってしま

	う可能性が高い。市民の皆さんからいただいた税金を1円も無駄にせず、地域の価値をより高めていく方法を考えていくことが大切で、今回のまちづくり懇談会のテーマにもつながってくる。
--	--

(金沢地区) 金沢地区について

意見要旨	説明・回答要旨
金沢地区には金鶏温泉があり、泉質も良いと市外の方からも好評で、10月1日からの料金改定は、金沢地区の魅力の一つである温泉を市外の方にも気軽に利用できるようになるため賛成だが、市外の温泉についても今後同じ料金設定になるか不安である。金沢地区の魅力の一つに小学校校庭のスケートリンクがあるが、この整備には、PTA、公民館、体協など様々な団体が協力し合っている。小さな地区だが、消防団なども精力的に取り組み、十分に魅力的な活動が行われているので、市長には是非我々の活動に目を向けて支援していただきたい。	(市長) 目を向けていないつもりは無かったが、そのように映ってしまったことは不徳の致すところ。 PTA、公民館、体協、消防団はそれぞれ非常に重要な役割を担っていただいている。市としても、足りないと感じるかもしれないが、サポートしている状況。消防団については、ここで再編が行われ、市の財源で積載車が配備されている。公民館活動については、市民活動との融合について視野に入れてあり方を検討していく。体協は、金沢独特の団体かと思うが、しっかりと活動を注視させていただく。

(金沢地区) アメリカシロヒトリについて

意見要旨	説明・回答要旨
今、市内でアメリカシロヒトリが大量発生している。この調子でいけば、来年にはさらに大量発生する可能性がある。 市は対策を講じているのか。	(市民環境部長) 大量発生の現状は把握している。美サイクルセンターでは、噴霧器の貸出しを行っているので、活用していただきたい。 年によって、発生の度合いが変わってくるので、予測は難しいが、しっかりと対応していきたい。

(金沢地区) 茅野市の未来について

意見要旨	説明・回答要旨
今回のまちづくり懇談会のテーマは、良いと思うが、これを市の職員がどのように捉えているのかが大切だと思う。 今までの業務の繰り返しでは無く、発想を変えて、スポーツ、産業、農業、観光の振興に積極的に取り組んでほしい。市の職員がまず元気でなければ、地域が元気にならないと思うので、モチベーションを上げて、茅野市の未来のためにご尽力いただきたい。 教育についても、市内で育った子どもたちが、市外へ出ていっても、茅野市に愛着をもって将来に戻ってきてくれるような教育をしていただきたい。	(市長) 貴重なご意見をいただき感謝する。